

平成 30 年度文京区障害者地域自立支援協議会

第 3 回就労支援専門部会 報告資料

(1) 定着支援について

●委員への事前アンケートの中で、定着支援の頻度や定着支援の方法を知りたいという意見が多かった。定着支援についての他機関連携の在り方、課題となる点、大切と思うことを話し合った。

[意見]

・入社時は訪問頻度が多い。徐々に減らしていくが、状況の変化に応じての訪問も行う。変化があった時には、きめ細かいケアが必要。早期発見、早期対応につなげる。

・入社時に本人の特性を会社に伝えることも定着には重要である。また支援機関同士でも情報の共有が大切である。

・支援機関役割分担し、連携ができればよいと思われる。

・支援機関のマンパワーの問題で訪問が難しい時、会社側から訪問を渋られる時などどうしていくか。

(2) 下命事項のまとめ

●トヨタグループ職場体験プログラムについて

・参加者アンケートより、視覚化により、わかりやすい配置を行っていることが安全や品質保証につながっているという意見が多かった。

[職員を派遣した施設の委員よりコメント]

・会社の工夫や取り組みを事業所に持ち帰り活用している。

・作業所と違い、お金をもらって働くこととの違いに気付くことができたのが大きかった。

[トヨタグループ有村委員よりコメント]

・送り出す側の方とのコミュニケーションはありがたい。社員の加齢により今後退職する人の居場所が課題となる。ハッピーリタイアのキャッチアップのためにも連携を続けていきたい。

●区役所インターンシップ実施状況

[参加施設よりコメント]

・就労に向けて希望する人が参加していた。利用者から参加希望が増えてきた。いつもとは違う新鮮な仕事ができることが良かった。社会性を養うなど色々な意味でもっと機会があったらいいと思う。

・慣れた作業所の環境から離れて仕事ができることにやりがいを感じている。支援者がいない形で仕事に参加など、利用者だけで取り組めるといいと思っている。

・非日常的な部分があると、自信や気分転換につながる。刺激になるので是非参加していきたい。

[来年度に向けての改善点等]

・急な依頼に対応できない。早めの依頼なら協力できたのと思うこともあった。

・インターンシップではなく、事業所に依頼してもらい事業所内でなら対応できた仕事があった。

・急な依頼にも応じていきたい。こういった機会はありがたい。経験を通して就労にむけて一歩前進した利用者もいる。